

地壹所在通券文 在左京四條貳坊玖町西肆。行北八門内者、自幼少之時女官所養育也、彼地者女官所領也。○中略

文治六年三月廿日

藏人左衛門權少尉藤原在判  
女官三條加判

京の水鳳京城坊保之圖解 坊保の積は、民家

一門縦通南北 一門といふは間口五丈奥行十丈と定だる法令にして、縦横の町に拘らず、民

五丈

之圖

五丈

始り、右京は東北よりかぞへはじまる。

〔侍中群要七申條里號事〕

北邊大路或只申一條是俗說 上東門大路、西陽明門大路、十二門准二條大路、以下宮城東大路、西洞院

東大路、西東京極大路、西鷹司小路、神解小路、萬里小路、已上申本號、其他小路等只堀川申本號云

今稱大路、云々

〔拾芥抄中程未一正親町 土御門 鷹司 近衛 雷解由中御門 春日 大炊御門 冷泉〕

二條小路 三條坊門教業坊 姉小路

四條小路 五條坊門宣風坊 高辻

六條左牛 七條坊門安衆坊 市門

八針小路 九條坊門唐橋北自

又一條北有小路、武者小路、今小路、滋井戸云

朱雀坊城壬生匣大宮猪隈堀川油小路西洞院町室町烏丸東洞院

高倉萬里小路富小路京極西起